



五稜会病院の正面です。台風一過の抜けるような青空です。大雨で伏古川も水かさが増えました。段々と秋景色が広がっていくのが見えてきます。

平成28年最近の五稜会病院

平成28年最近の五稜会病院の診療及び業務内容の紹介をします。

ひとつは、札幌市から委託されている「さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業」があります。札幌市における児童精神科医療の充実のために行われています。当院は、札幌市内の他の4つの医療機関とともに、児童精神科の診療を受けられる医療機関に紹介する「コンシェルジュ（案内）」の役割を担っています。

もうひとつは、札幌CBT&EAPセンターの業務です。科学的根拠に基づき、道内企業のメンタルヘルス対策をサポートしています。平成27年に始まったストレスチェック制度を担い、高ストレス者の医師面接、専門家による相談・助言の希望や専門医への相談、医療機関受診にも対応しています。

医療法人社団五稜会病院理事長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

- 1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
- 2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切に医療を行う。
- 3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
- 4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会・研究発表

当院の研究発表については病院のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。私たちは最新の医療を提供出来るように、日々努力しております。平成28年度も様々な学会・研究会に参加しました。当院の開かれた医療の実践報告をしています。

第5回日本精神科医学会学術大会 仙台
平成28年11月16日
「キャリアデザインの発想を取り入れたリソースプログラム」 春名大輔
「精神科看護師がより積極的に薬の心理教育に関わっていくために」 山本杏奈
「待ち時間調査から見る新棟の外来空間と機能の現状と課題」 井出瑞門

平成28年10月15日
日本ストレスケア病棟研究会 当院から5名参加
会場：福井県福井市、松原病院

第25回QCサークル大会
「貸し出し図書の見直し～借りやすい環境作り～」
5病棟：松井、寺田、奥村
「びたっとカード」ですっきり算定
デイケア：中山香織

院内勉強会

- ・精神保健福祉法
- ・AD/HD勉強会
- ・救急時対応
- ・ノウハウ対策
- ・生活習慣病予防と運動～〇〇体の作り方～
- ・フォーカス・チャージ 研修会
- ・ルーム対応と院内コミュニケーション
- ・身近にある感染症
- ・人工呼吸器の安全な取り扱い方について

五稜会病院での実践内容については、院外での学会・研究会で発表しています。その際には、患者さんの個人情報保護の対応規定に従っています。病院理念の「臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める」を実践するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

- 1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
- 2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
- 3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
- 4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
- 6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
- 7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

医療のトピックス

相模原障害者施設殺傷事件

平成28年7月26日未明、神奈川県立津久井やまゆり園において、元職員が入所中の知的障害者を襲い、19人が死亡し20人を超える方々が負傷したという大変痛ましい事件がありました。

平成28年4月1日、国連の「障害者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行されました。この法律は、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的としたものです。この差別解消法をあざ笑うかのように、容疑者は、ナチスドイツの「優生思想」にかぶれたように行動を起こしたのです。

容疑者が、事件以前に措置入院になっていたことから、厚生労働省では、平成28年8月10日から、「相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム」を立ち上げて、福祉施設における防犯対策について、精神保健福祉法の措置入院に係る手続きについて、退院後のフォローアップについて、警察等の関係機関との情報共有のあり方について、を検討し、秋には、論点を整理してとりまとめを行うとしています。当院としても、施設内の防犯対策について、強化を図っているところです。

最近の精神科医療政策のご紹介

平成28年度厚生労働科学研究補助金（障害者総合福祉推進事業）

「精神科救急体制の実態把握及び措置入院・移送の地域差の要因分析に関する調査研究」

精神科救急医療体制整備事業の今後の執行や事業内容の検討に資する以下の事業を行う。

- (1)自治体における、精神科救急医療体制の好事例の収集
- (2)都道府県毎の精神科救急医療体制（身体合併症対応を含む）の整備状況の実態把握と共通の尺度に基づく都道府県毎の精神科救急医療体制の評価
- (3)措置入院、医療保護入院移送の地域差の実態の把握と要因分析
- (4)地域の実情に応じた精神科救急医療体制を整備するためのガイドラインの作成

平成28年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

「精神障害者の地域生活支援を推進する政策研究」新たに分担研究班の設置 「措置入院患者の退院後における地域包括支援のあり方に関する研究」

措置入院患者の入院措置解除後における地域包括支援のあり方を検討することを目的としている。

2つの研究とも、中島公博が構成員として参画しております。

**当院は患者さん本位の医療を提供しようと
考えております。
お気づきの点をご相談下さい。**

治験のご協力をお願い

現在、当院では「**統合失調症**」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。今後、AD/HDの治験も予定しています。詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。

統合失調症

典型的な症状は幻聴と妄想です。最近では主治医から病名の告知もなされています。かつてのような不治の病ではありません。適切な薬物療法が必須です。

また、18歳までの年齢で、統合失調症と診断されている患者さんの治験を実施しています。未成年の場合、親御さんの同意が必要です。

AD/HD(注意欠陥多動性障害)

まもなく、治験が開始されます。興味のある方は主治医にお尋ね下さい。

五稜会病院 概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

| | |
|--------------|------|
| 病床数 | 193床 |
| 急性期病棟 | 48床 |
| ストレスケア・思春期病棟 | 48床 |
| 療養病棟A | 49床 |
| 療養病棟B | 48床 |

従業員数 約200名

| | | | |
|---------|-------|-------|----|
| 医師数 | 常勤 6名 | 非常勤 | 8名 |
| 看護師 | 84名 | | |
| 薬剤師 | 2.5名 | | |
| 臨床検査技師 | 2名 | 非常勤 | 2名 |
| 臨床心理士 | 8名 | 非常勤 | 4名 |
| 作業療法士 | 9名 | 音楽療法士 | 1名 |
| 精神保健福祉士 | 10名 | | |

五稜会病院沿革

| | |
|--------|-------|
| 開設 | 昭和47年 |
| 医療法人開設 | 平成2年 |

編集後記

平成28年8月、史上初めて台風が3つも北海道に上陸しました。川の氾濫や洪水など、畑や水田などの被害も甚大なものになっています。9月1日は防災の日です。日頃の災害に備えた心構えが必要です。

発行：平成28年8月25日
〒002-8029
札幌市北区篠路9条6丁目2-3



発行責任者：広報委員 清水優子・羽生恵美
電話：011-771-5660
http://www.goryokai.com
mail：GMC@goryokai.com

多目的ホールを使って・・・ サマーミュージックフェスタ開催!!

昨年オープン!!

8月5日金曜日、多目的ホールにて、『GMCサマーミュージックフェスタ』が開催されました。この催しは、二部構成となっており、一部はデイケアバンドサークルのメンバーが中心となって力を合わせ、短期間で準備を進めてきました。エレキギター・アコースティックギター・ピアノによるソロ演奏のほか、バンドサークルによる演奏と緊張しながらも無事に終えることができました。また、二部は、サロンコンサートでお馴染みの鈴木景子さんによるオーボエ演奏と、数々の有名アーティストと共演のある鈴木孝彦さんによる迫力のあるピアノ演奏で大盛況となりました。暑い中、沢山のご来場、ありがとうございました。(デイケア:池端)



日本精神神経学会サマースクール 研修医の施設見学がありました。

平成28年度日本精神神経学会主催の医学生・初期研修医のためのサマースクールが札幌で開催されました。今年度は北大精神科久住一郎教授が担当しており、全国から約50名が参加したとのこと。1日目の平成28年8月4日は、日本精神神経学会の武田雅俊理事長による「DSM-5と精神医学」、内海健先生による「精神療法を行う前に」、成田善弘先生による「精神療法的面接について」などの講義です。そして、2日目の8月5日午前が札幌市内の10数カ所に4-5名ずつ別れての施設見学でした。五稜会病院には、本州からK大学医学部5年男子医学部生、M市立病院初期臨床研修2年目、A病院精神科とT大学附属病院研修1年目の女医さんの計4名が見学に来ました。まず、全体ミーティングに参加してもらい、その後、中島理事長から病院の概要説明、急性期病棟、ストレスケア・思春期病棟見学、デイケア、リワーク・ウェルネスの説明を行い、そして当日多目的ホールで行われたオーボエとピアノのサロンコンサートに短時間触れて頂きました。4人の先生ともに、当院の多職種連携の良さ、開放的、斬新な精神科病院を肌で感じとったようでした。是非、精神科医療に携わって欲しいものと期待します。

(理事長:中島)



外来グループプログラムのご案内 (心理室)



当院では、人付き合いや自分自身の振る舞いの癖との付き合い方のコツについて学び、生活を送りやすくするためのセミナーを3種類実施しています。対象は外来の患者さんで、少人数制のグループ形式をとっています。参加には主治医の許可が必要となりますので、気になる内容がありましたら、診察の際に主治医とご相談ください。案内文や申込用紙は外来ロビーに設置しています。よろしければこちらも合わせてご覧ください。(心理室主任:松岡)

なやみ①コミュニケーション

- ・思ったことがうまく言えない
- ・言うことで相手の関係に影響を与えるのが心配

おすすめ:『コミュニケーションゼミナール』

率直で自他を大切にしたい自己表現のコツを知り、練習などを通して方法を学びます
 <毎月第1~4月曜日 11時~12時 全5回>

なやみ②つい思い込んでしまうことが多い

- ・思い込みが激しい
- ・相手や状況を誤解して、対人関係で摩擦が生じてしまう

おすすめ:『決めつけを手放そう』

情報の集め方のコツを知り、落ち着いて判断する方法を学びます
 <毎月第2・4木曜日 11時~12時 全1回>

なやみ③考え込んで憂うつな気分が続いてしまう

- ・ついつい考えすぎてしまう
- ・嫌な気分を引きずってしまう

おすすめ:『ココロのストレッチ』

考え方のクセを見つめ直すことで、気持ちを整理する方法を学びます
 <毎月第1・3金曜日 11時~12時 全2回>

患者さんの送迎 拡充のご案内

麻生・栄町・JR篠路駅(新・石狩市役所方面)



当院では、デイケア・外来・ご家族の方へのサービスとして、各方面からのシャトルバスを用意しております。この度、バスの入替を機会に送迎車輛の充実を図り従来の地下鉄麻生・栄町に加え、7月よりJR篠路駅、と石狩市役所への送迎を開始しました。今後も、デイケア行事等での活動範囲拡大を目的とした機会が増えていく予定です。なお、シャトルバスの詳細は、ホームページ又は窓口にお問い合わせください。

(事務長:田中)